

島根県公共事業再評価委員会 質疑応答

件名	令和7年度 第2回島根県公共事業再評価委員会 現地調査
開催日	令和7年8月4日(月) 9:15~14:15(移動時間含む)
場所	雲南市内、松江市内
出席者	●委員 今井順一、上野和広、小倉加代子、佐藤真理、建井順子、 豊田知世、長廻英夫、原裕子、堀田崇由 ●県 審議地区① 農林水産部 農村整備課 審議地区② 土木部 砂防課 松江県土整備事務所 審議地区③ 土木部 都市計画課 松江県土整備事務所 審議地区④ 土木部 道路建設課 松江県土整備事務所 松江北道路建設室 事務局:土木部 技術管理課

質疑応答

◇審議地区①

農村地域防災減災事業 佐世地区 9:55~10:15

1. 現地で配布資料、図面により事業概要、進捗状況等を説明(佐世地区起点部にて)

(委員)

経済効果の算定は主に走行経費削減効果か？

(農村整備課)

はい。時間短縮や車種転換によるものが主です。

(委員)

受益地で栽培されているのは、水稻か？他の作物はどうか？

(農村整備課)

主に水稻です。ほ場整備事業を実施する場合には、高収益作物の導入が要件化されているが、上久野のエリアでは大半が水稻。

(委員)

昔は、上久野ではメロン栽培が盛んであったと記憶しているが、今は作られていない？

(農村整備課)

そこまでは、確認していない。

(委員)

受益農地の関係人口はどのくらいか？

(農村整備課)

計画時点の数字になるが、関係6集落の人口は360人うち、農家人口は83人。

受益面積は、197.2ha。

(委員)

集落の年齢層はどのくらいか？

(農村整備課)

年齢層は把握していないが、例外なく高齢化は進んでいる。そのため、先ほど説明した農事組合法人が作業受委託により受益農地の営農を行っている。

(委員)

後日、集落の年齢層を報告してください。

(委員)

車種転換とはどう転換されるのか。

(農村整備課)

これまでの軽トラック輸送から、2t車による輸送が可能となる。

(委員)

河川の付け替えは、流出量を考慮した断面となっているのか？

(農村整備課)

流出量を踏まえた検討を行い、河川管理者と協議の上で断面決定している。

(委員)

整備前の農道では、すれ違いが困難な状況だったか？

(農村整備課)

現道は有効幅員が3mであり、すれ違いは困難。事業により、軽トラックと2t車のすれ違いが可能となるよう幅員を決定している。

(委員)

この全幅5mの計画は、1.5車線化の考え方と理解してよいか。

(農村整備課)

はい。農村地域防災減災事業で実施している避難路整備では、全幅5mによる1.5車線の考え方で整備している。

◇審議地区②

防災安全交付金事業 玉造西1地区 11:00～11:30

1. 現地で資料により事業概要、進捗状況等を説明(玉造西1地区現場にて)

(委員)

(今、説明を受けている)場所は。

(砂防課)

図面で説明

(委員)

(今後施工する施設は)施工済み施設と同様に擁壁工を施工するのか。

(砂防課)

(図面を用いて)基本的に全区間に重力式擁壁、防護柵を施工し、一部区間の斜面には法枠を施工する。

(委員)

擁壁と法枠の工法はどのように決めているのか。

(砂防課)

経済比較で安価な工法を採用している。

(委員)

土質は。

(県土)

礫質土混じりの粘性土である。

(委員)

現地に被害があったのか。

(砂防課)

図面の⑤の住宅裏で崩壊し、現年災にて工事を施工した。

(松江県土)

平成 20 年代前半に施工した。

(委員)

崩れたから事業を着手したのか。

(砂防課)

崩れたということも事業着手の理由の一つである。

(委員)

(現地説明箇所を見て)これは工事用道路か、排水路は。

(松江県土)

工事用道路で、今は仮排水工(半円の高密度ポリエチレン管を指し)を施工している。最終的には、図面で示すような排水工を施工する。

(委員)

今後の降雨による崩壊が懸念されるため、排水工の施工を早めをお願いする。

(委員)

竹が生えているが、地下水位は低いのか。

(砂防課)

地下水位は低いと思われる。地下水位を下げるような施設は施工しない。

(委員)

崩れているから、擁壁のみということか。

(砂防課)

現地調査の結果により、各調査箇所において、経済比較で採用する工法を決めている。

(委員)

場所によって工法が変わる理由は。

(砂防課)

斜面と施設の距離が大きい場合、ポケットが確保できるので擁壁のみで、距離が小さい場合、ポケットが確保できないので、斜面对策工と併用することが多い。

(委員)

掘削したら湧水が発生するか。

(松江県土)

施設の構造に影響するような湧水は発生していない。

(委員)

施設裏の土地は誰のものか。

(松江県土)

個別の地権者のものである。

(委員)

大きな崩壊は起きないか。

(砂防課)

設計コンサルタントが現地調査をし、斜面状況を確認している。その結果、地すべり性の崩壊が予見されるようなものはなかった。

(委員)

事業着手は地元要望か。

(砂防課)

そのとおりである。地元から市を經由して要望があり、県で調査、設計を行い、工事を行う。

(委員)

優先順位はあるのか。

(砂防課)

人命保護が目的であり、全て実施が必要な事業なので、基本的に優先順位はないが、用地買収の状況により、事業の進捗が変わる。ただ、市の重点要望である場合は、優先的に着手する場合もある。

(委員)

温泉街であるが、工事用車両の通行経路は。

(松江県土)

図面で説明(市道玉造西側線)

(委員)

(保全対象の)家屋にお住まいの人数は。

(砂防課)

保全対象の家屋にお住いの人数は把握していない。人ではなく家屋を保全対象としている。

(委員)

事業採択の要件は。

(砂防課)

人家5戸以上、もしくは公共施設が保全対象となる場合である。

(委員)

本地区は13戸なので、事業要件を満たしているということか。

(砂防課)

そのとおりである。

(委員)

保全対象の市道が使えなくなると、どうなるのか。

(砂防課)

この市道は避難路となるのか。

(松江県土)

避難路ではないが、生活に利用されている温泉街周辺の住民が困る。

(委員)

温泉街の住民の生活道路ということか。

(松江県土)

そのとおりである。

(委員)

施工中に斜面が崩れないよう注意して施工されたい。

(松江県土)

助言として受け止め、工事中は注意する。

(委員)

崩れたところ(現年災箇所)の工法は。

(砂防課)

法枠である。

(委員)

工事期間は。

(砂防課)

1、2年程度である。

(委員)

(説明箇所の周辺を見て)元々、宅地だったのか。

(松江県土)

正確にはわからないが、昔は宅地だったかもしれない。

(委員)

(施設の裏は)擁壁背後の立木は伐採するのか。

(砂防課)

伐採はしない。事業用地として必要な範囲のみ伐採する。

◇審議地区③

防災安全交付金事業（都）松江熊野線 12:55～13:20

1. 現地で配布資料により事業概要、進捗状況等を説明（鍛冶橋付近、新大橋付近にて）

（委員）

新大橋の橋上に休憩スペースを作らないのか。300m近く歩かせるのか。

（都市計画課）

計画はない。南詰には大橋川改修により港湾緑地が整備され、北詰のスペースもポケットパーク等を計画される可能性はある。

（委員）

橋を通るだけでよいのか。このような計画になぜなったのか。個人的には、機能ばかりよくなっても、デザインに楽しみがなく寂しいと感じる。

（都市計画課）

デザインは街づくりの全景や沿線の回遊等に配慮し、大橋川の景観にマッチしたデザインとしている。

（委員）

意見としてワンポイントで宍道湖大橋のような休憩所を設けるべきだと思う。

（都市計画課）

意見として頂戴する。

（委員）

景観委員会の委員長は誰？

（都市計画課）

大学教授に委員長をお願いしている。

（委員）

委員会にはどんな人がいるの？大橋川改修のデザイン検討委員会と委員会は同じ？

（都市計画課）

新大橋と大橋川改修の検討委員会は別です。委員会には県内の大学や高専の先生や河川管理者等をお願いしています。

（委員）

地盤改良するようだが、地盤が弱いのか。

（都市計画課）

橋梁架け替えにより、道路高さがあがるため盛土等を実施する必要がある。盛土により許容沈下量を超えるため地盤改良を行う。

（委員）

地盤改良は河床よりも上の盛土を改良するのか。

（都市計画課）

岸壁背後にあたる部分を実施する。

（委員）

今後交通規制はあるのか

(都市計画課)

交差点切替などで規制は生じる予定である。

(委員)

施工する時間はいつか。夜間工事なのか。

(都市計画課)

施工する時間は工事着手前に、警察等と協議した上で決定する。現時点では決まっていない。

(委員)

鍛冶橋はどうしたのか。

(都市計画課)

交差点切替等の一部は、夜間に実施した。

(委員)

新大橋のデザインは完全に決まっているのか。変更する余地はあるのか。

(都市計画課)

タイルなどの色合いは今後決まる。

(委員)

仮橋には歩道や自転車通行帯はできるのか。歩道は今より広くなるのか。

(都市計画課)

歩道は今よりは広くなる。

◇審議地区④

国庫補助事業 松江北道路 13:40～14:15

1. 松江北道路のパンフレット及び松江北道路だよりを各委員に配布して事業概要及び整備効果、現在の進捗状況を説明。(松江だんだん道路 川津 IC 除雪基地スペース)

(委員)

川津 IC は松江北道路ができるとどのような形状になるのか？

(道路建設課)

川津 IC についてはパンフレットにイメージ図を掲載しているが立体交差の形状になる。

(委員)

現在の国道 431 号の上部に松江北道路ができるということか？

(道路建設課)

上部に松江北道路(高架橋)ができる。現在、橋台工事のための準備工事を行っているところ。

(委員)

他の IC 部はどのようになるのか？

(道路建設課)

川津・西持田・西生馬は立体交差であり、下佐陀以西は平面交差になる。

(委員)

西生馬 IC 部は立体交差なのか？

(道路建設課)

立体交差になる。

(委員)

松江高専の裏山は誰の土地か？

(松江北道路建設室)

個人の土地になる。具体名は個人情報になるため申し上げられない。

(委員)

松江北道路はなぜ中国電力の寄付金を活用しないのか？

(道路建設課)

松江北道路は事業化時から国の補助事業として動いており、そもそも中国電力の寄付金を活用することは想定していない。

(委員)

トンネルの位置をもっと北側にすれば、トンネル延長を短くすることができたのではないか？

(道路建設課)

トンネル位置を更に北にした場合、新たな切土又はトンネル区間が発生することになる。経済性等を考慮し、現ルートが最適案となっている。

(委員)

盛土区間等の土はどうするのか？

(道路建設課)

トンネル掘削残土や生馬工区等の切土区間の残土を流用することを考えている。

(委員)

松江北道路にはトンネルがあるのか？

(道路建設課)

真山区間にてトンネルが2本ある。

(委員)

用地買収はどのようになるのか？

(道路建設課)

トンネルでは坑口部等、低土被り箇所では用地買収を行うことになる。

(委員)

境港出雲道路はいつ頃できるのか？

(道路建設課)

境港出雲道路はまだ事業化もされておらず、ルートも決まっていない状況であり、いつ頃完成するといったことはまだ言える状況ではない。現在、国に対して国による事業化(整備)の要望を行っている状況。

(委員)

境港出雲道路は現在の国道 431 号に接続するのか？

(道路建設課)

境港出雲道路は出雲 IC から境水道大橋を經由して米子市街地を結ぶルートであり、現在、事業中区間は松江北道路のみ。西側ではこれまでに東林木バイパス等が供用されているが、この東林木バイパス～松江北道路区間はどのようなルートになるかはまだ決まっていない状況。

(委員)

立体交差になる IC 箇所はどこか？

(道路建設課)

川津・西持田・西生馬 IC が立体交差になる。

(委員)

ソフトビジネスパークとのところ(西持田 IC)は立体交差か？

(道路建設課)

西持田 IC は立体交差になる。